



ひの社会教育センターの なつやすみ 活動報告

<2018 年度 夏期>



「2018夏の自然学校のまとめ」発行にあたり

記録的に暑かった今年の夏が過ぎました。今年も夏のまとめをお届けします。

全国的に酷暑の夏。「東京の避暑地と言われる青梅」でも今年は40度を超えました。ここ数年、台風、地震や豪雨による「今まで経験していない事象」が続き土砂災害や高潮災害などが発生しています。被災地域やまだ避難所に居られる方々にお見舞い申し上げます。

さて今年も例年に増して、多くの皆様のご参加をいただき、夏の事業を賑やかに行うことができました。野外でのキャンプ、日野社会教育センター内での体育活動、文化活も例年同様活発で、子どもたちも記録的な暑さに負けず元気に心と体の発達を遂げたと思います。活動の大きな目標は「自分で考え、生きる力を育てること」。この報告集にお目通しいただき、子どもたちの様子をご確認ください。

この夏、日野社会教育センターは老朽のため冷房装置が故障、館内の活動実施が危ぶまれる事態になりました。緊急に代わりの冷房装置と、水分補給用の冷水給水装置を設置しました。そして、活動プログラムでは、適宜休憩を取り、体温上昇を防ぎ、体調管理を徹底しました。お蔭様で事故なくこの季節を乗り切ることができました。ご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。

来年春に日野社会教育センターは新館に移転いたします。多摩平に開設して50周年目に当たります。これからも活動目標をしっかりと持ち、地域の皆様のご参加を歓迎します。そして、更に皆さんから応援いただけるよう努力いたします。次の50年に向けてスタートいたしますので、わが家同様にお過ごしください。必ず新しく健康な毎日を楽しむことができると考えております。



ひの社会教育センター
島崎成利(Shimax)





2018 シーズン ひの自然学校ラインアップ

日程	コース名(対象)	行先	宿泊形態	参加者数
①7/24 (火) ②7/25 (水)	日帰りカヌー体験 (小学生)	みの石滝キャンプ場 (相模湖)	日帰り	①28 名 ②32 名
①7/27 (金) ②7/30 (月)	高尾シャワークライミング (小学4～6年生)	裏高尾「TAKAO シャワー」 (東京都八王子市)	日帰り	①12 名 ②中止
①8/6(月) ②8/8 (水)	日帰り南アルプス天然水川 遊び (小学1～3年生)	山梨県白州観光尾白キャンプ場 (山梨県北杜市白州町)	日帰り	①25 名 ②24 名
8/6(月) -8 (水)	ミステリーキャンプ (小学4～中学生)	行ってみてのお楽しみ →実際は…牧場チロルキャンプ場 (山梨県北杜市武川町)	テント泊	18 名
①8/16(木)-18(金) ②8/16(木)-18(金)	清里大草原キャンプ (小学生)	八ヶ岳少年自然の家 (山梨県北杜市高根町清里)	施設泊	①45 名 ②43 名
8/12(日)-14(火)	ローカル電車で行く山の 旅、” The 青春キャンプ” (小学5年生～高校生)	南アルプス 仙丈ヶ岳 (3,033m)	山小屋泊	12 名
8/17(金)-21(火)	島☆冒険キャンプ (小学4年生～中学生)	式根島 (東京都伊豆諸島式根島)	民宿泊	25 名
①8/20(月)-21(火) ②8/22(水)-23(木) ③8/23(木)-24(金)	1泊キャンプ (年長児～小学4年生)	夕やけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)	常設テント 泊	①24 名 ②20 名 ③24 名



2017 シーズン チャレンジ教室ラインナップ

日程	コース名(対象)	場所	参加者数	備考
A:7/30(月)-8/3(金) B:8/20(月)-24(金)	鉄ぼう・とび箱教室 (小学1～4年生)	ひの社会教育センター 3F 体育室	A:24 名 B:24 名	
A:7/30(月)-8/3(金) B:8/20(月)-24(金)	トランポリン教室 (小学生～大人)	ひの社会教育センター 3F 体育室	A:16 名 B:16 名	
7/26(木) (13:30-15:30)	けん玉チャレンジ (小学生～大人)	ひの社会教育センター 研修室	7 名	
7/28(土) (17:00-18:30)	剣道チャレンジ (小学生～大人)	ひの社会教育センター 3F 体育室	6 名	

ひの社会教育センターは

“Leave No Trace(LNT).Org”の公式パートナーです

「Leave No Trace (LNT)とは、自然の中で生活し、そして遊ぶ誰もが、少しずつ自然のことを考え行動することで自然環境を持続可能なものにしていこうという考え方と、その行動倫理を示しているものです。北米を中心に世界のいくつかの国で採択され、アメリカでは国立公園の入場券に記載されているなど広く認知されている国際基準のひとつです。



研究によって裏付けられた『7つの原理』は自然への負荷軽減（ミニмумインパクト）の考え方に沿っていて、正確でありながらシンプルな原則は、あらゆる場面、あらゆる人のシーンにおいて意識の中において行動することができます。

ひの社会教育センターはこれまでの活動経験から、環境負荷を軽減し、人と自然の持続可能な関係を築いていくことに賛同しオフィシャルパートナーシップ登録をしています（2017年より。国内で3番目）。今後7原則を活用したプログラムへの取り組みを進めるとともに、LNTの考え方を広く推進していきたいと考えています。

【LNT 7つの行動倫理とミニмумインパクトへの原則】

- ① **事前に計画と準備をしよう** (Plan ahead and prepare)
- ② **影響の少ない場所での活動をこころがけよう**
(Travel and camp on durable surfaces)
- ③ **ゴミや排泄物は適切に処理しよう** (Dispose of waste properly)
- ④ **見たものはそのままにしておこう** (Leave what you find)
- ⑤ **たき火の影響は最小限にとどめよう** (Minimize campfire impacts)
- ⑥ **野生動物を尊重しよう** (Respect wildlife)
- ⑦ **他の利用者への配慮も心がけよう** (Be considerate of other visitors)

1day outdoor カヌー体験①<日帰り>

小学生

- 【開催日】 2018 年 7 月 24 日(火)
 【会 場】 みの石滝キャンプ場(神奈川県相模原市)
 【参加人数】 28 名
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)、井上恵里(キャンプネーム:えっぴ)
 【プログラム】

1 日目	【ねらい】
8:00 集合	○水の上を自由に動けるカヌーの技術に挑戦し、新しい「できる」体験を積む。
豊田～相模湖	○安全意識をもちながら活動に臨み、野外における安全を感じることができるようにする。
相模湖カヌー体験	
昼食	
沢遊び・火遊び	
相模湖～豊田	
16:30 解散	

【プログラムの成果】

インストラクターのレクチャーをしっかりと聞いていざ、湖面へ。はじめはうまくいかず、自分の行きたいところに行けない子も試行錯誤しながら漕いでいるうちにパドルさばきがだんだん上達することができた。目標物に向かって漕いでみたり、友達やリーダーに水を掛け合ったりと「やりたい」ことが実現できるまでになり、子どもたちも自然と笑顔になるような活動ができた。午後の遊びでは火遊びや沢遊びなど自分で選択した遊びを楽しみ、充実した1日となった。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

あおし、ウエンツ、よりより、ひめちゃん、れいちえる

【キャンプの様子】

		
電車にも乗って船にも乗っちゃう！	カヌーのプロ「えいじさん」からカヌーのこぎ方についてレクチャーを受けます。	パドル操作もお手のもの！どんどんと上達していきます。
		



イエーイ！自分の行きたいところに行けるようになったら友達とも並走できちゃう！



こちらは水かけ大会！パドルをうまく使って…



カヌーの後は、美味しいマシュマロを一口！火付けにも挑戦だ！



こちらは沢遊びチーム。流れをせき止めるダムづくり中。

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆ドキドキワクワク体験

カヌーの達人エイジさんの運転する船に乗りキャンプ場に向かう子どもたち。カヌーはどれ？いつ乗れるの？とワクワク、ドキドキが止まらない様子。いざカヌーに乗ると一生懸命パドルを漕ぎ出します。初めてのカヌー、前に進むのが精一杯だったはずなのに、気がつくと小回りだって上手にできるように！どんどん奥まで探検に行く姿、なんだか頼もしく感じました。（ひめちゃん）

☆思い出いっぱい

リーダー達もうきうきで、始まった夏の自然学校一本目！

とても暑い日だったので、カヌーを漕ぎながらも水の掛け合いが盛り上がりました！中にはエイジさんに水入れて～とお願いして、カヌーのプールに浸かっている子もいました笑 普段はあまり出来ない楽しみがあるからか、暑さには目もくれず午後から火遊びを楽しんでいる子もたくさんいました、

帰ってくる頃には、みんな手や足に日焼けの後がくっきりついていて、目に見える思い出のおまけつきですね笑（れいちゃん）

1day outdoor カヌー体験②<日帰り>

小学生

- 【開催日】 2018年 7月25日(水)
 【場所】 みの石滝キャンプ場(神奈川県相模原市)
 【参加人数】 32名
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)、若泉将貴(キャンプネーム:わか)
 【プログラム】

1 日目	【ねらい】
8:00 集合	○水の上を自由に動けるカヌーの技術に挑戦し、新しい「できる」体験を積む。
豊田～相模湖	○安全意識をもちながら活動に臨み、野外における安全を感じることができるようにする。
相模湖カヌー体験	
昼食	
沢遊び・火遊び	
相模湖～豊田	
16:30 解散	

【プログラムの成果】

カヌーの扱い方、パドルの操作方法など、インストラクターの話をしっかり聞いてスタートすることができた。出発当初緊張した面持ちだった参加者も、カヌーに乗って競争したり、水をかけあったりするなかで、コミュニケーションをとり楽しそうにカヌーを操作していた。序盤、カヌーの操作に四苦八苦していた子どもたちも、最後はしっかりコントロールして栈橋までたどり着くことができていた。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

ウエンツ、かめちゃん、まーぼ、まいの、きき、チャーリー、ソーダ、まっちゃん

【キャンプの様子】



キャンプ場までの移動は、なんと船！？
どこかの島に行くようでワクワクです！

まずは感覚を掴むのに精一杯…。
少しずつ慣れていきます。

午後のゆったり自由時間も魅力的。
川遊びに火遊び、山登りまでできちゃう。



午後の遊びは相談して決めよう！の一コマ。やりたいことが多すぎて迷っちゃう…。



午前も水遊び！そして午後も水遊び！一日中水遊びでも飽きないもの。沢がに発見！



水のかけあい。みんなが集まり始めて、みんなビショビショ。



慣れてくると、この余裕の表情。漕ぐのが一層楽しくなります。

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆子どもたちの上達力

最初はコントロールするのが難しくて茂みに突っ込んでいた子もいましたが、みんな習得が早いこと！！すぐに乗り回せるようになりました！栈橋にある麦茶のドライブスルーに寄りながら、えいじさんが起こしてくれる波に勇敢に立ち向かう勇者たち。2時間以上思いっきりカヌーを楽しみました。するとあれあれ？カヌーから落ちているのはリーダーばっか?!いつの間にか子どもたちの方がうまく乗れている…！笑（まーぼ）

☆たのしい楽しみ方カヌー

エイジさんからカヌーの基礎を教わり、体操をしたあとカヌーに乗りました！初心者の子もいたり、2回目以降の経験者もいたりという中でのカヌーでしたが、乗り始めはみんななんかぎこちない感じでした。しかし5分も経たないうちにみんなスイスイとカヌーを乗りこなしていました！大きな湖の中自由に動き回ったり、水を掛け合ったりと、子ども達は楽しい1日を過ごしたと思います！（チャーリー）

1day outdoor シャワークライミング①<日帰り> 小学4年～6年

- 【開催日】 2018 年 7 月 27 日(金)
 【会 場】 裏高尾の沢「TAKAO シャワー」
 【参加人数】 12名
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)、井上恵里(キャンプネーム:えっぴ)
 【プログラム】

1 日目	【ねらい】
7:30 集合	○自然の中の水遊びを通して外遊びの楽しさを感じる。
豊田～高尾	○仲間と協力して水流に立ち向かい、仲間と力を合わせる良さを感じる。
シャワークライミング	○不安定な沢筋の歩行で安全意識を高める。
昼食	
沢遊び	
高尾～豊田	
解散	

【プログラムの成果】

川を遡上する体験する中で、プールとは違う水の面白さや強さ、冷たさを子どもたち一人一人が感じることができた。また川には危険な生物や植物がいることも伝え、自分の身を自分でも守れるように安全意識の向上に努めた。また滑る箇所や頑張らないと登れないところでは、参加者同士の協力や自発的な声掛けが生まれる場面もあった。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

ウエンツ、よりより、かめちゃん

【キャンプの様子】



安全についてのお話を聞きます。



いざ出発！
へびにカエルにも出会えたよ！



3点支持で登ってみよう。時には自分の腰より高いところも。





わっほーい！慣れてくるとこんな滑り方だってできちゃう。



休憩の時には温かいドリンクのサービス♪
冷えたカラダにしみるっ～



途中には滝も出現?? みなさん打たれています。。



のんびりおやつタイム。一緒に沢を登ったらいつの間にか友達に。

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆元気いっぱい

冷たい水にも負けず、深い所でも流れがある所でも、楽しんで進む姿はとても頼もしく見えました。いろんな生き物を発見したり、スライダーにもチャレンジしたり、川の自然をめいっぱい楽しんだ様子の子どもたち。昼食後の原っぱ遊びでもドッチボールなどでたくさん体を動かしました。

一日中動き回ってクタクタのはずなのに、笑顔で楽しむ子どもたちの元気パワーに驚きました。(かめちゃん)

☆午前も午後も満足満足

午前はシャワークライミング!! 深みのある場所で浮いたり、飛び込みをしたりしてからメインの天然のウォータースライダーで全身ずぶ濡れ。「もう一回やりたい」の声がつかみませんでした。

午後は遊びを自分でチョイス、各々が楽しい時間を過ごしていました。

川遊びでは石と砂と葉っぱを使った天然のダム作りに励み、お互いの知恵を出しあって立派なダムをたくさん作っていました。(よりより)

清里大草原キャンプ①<2泊3日>

小学生

- 【開催日】 2018 年8月1日(水)～3日(金)
 【会 場】 山梨県立ハケ岳少年自然の家(山梨県北杜市清里高原)
 【参加人数】 45名
 【ディレクター】 小澤まどか(キャンプネーム:おざ)、若泉将貴(キャンプネーム:わか)
 【プログラム】

1 日 目	2 日 目	3 日 目	【ねらい】
7:30 集合出発	7:30 朝食	7:30 朝食	○グループワークを通じて、「みんなで遊ぶ楽しさ」を感じる。 ○荷物整理を中心に、「自分のことは自分でやる」に挑戦する。 ○広大な敷地をめいっぱい使って思いっきり体を動かす。
入所の集い・昼食	原っぱ遊び	原っぱ遊び	
13:00 冒険ハイク	昼食・キャンプ場へ移動	11:00 プラネタリウム	
16:30 入浴	15:00 野外炊事	12:00 昼食	
18:00 夕食	17:00 夕食	現地出発	
19:00 夜のレクリエーション	19:00 キャンプファイヤー		
就寝	入浴・就寝		

【プログラムの成果】

低学年の多いコースであったが、一つ一つの班がまとまっており、とても良い雰囲気キャンプを進行することができた。「自分のことは自分でやる」ことを目標にやってきたが、自分のことだけでなく、周りの友達と助け合いながら協力して取り組む場面も見られた。また、高学年の参加者が低学年の参加者のお手伝いをする様子も見られ、とても一体感のあるキャンプとなった。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

ふう、ちゅんちゅん、あにー、きっぴ、まーぼ、まいの、ソーダ、えるも、ぴちこ、いなり、あっくん

【キャンプの様子】



バスの中からハイテンションのリーダーと子どもたち。まずは冒険ハイクから。



このキャンプの目玉は、なんといっても、貸切の広～い原っぱを使った遊び！



お部屋で過ごす時間やキャンプファイヤーも、みんなと過ごす大切な時間。





降水率 0%！？ 天気にも恵まれた三日間！ 星空も見えたね。またキャンプで会おう！



ひの自然学校は洗い物にも力を入れています。
自然に返す水をなるべくきれいに…。



ここに来るとリーダーも子どももみんな叫びたくなるんだ！



お別れの時、リーダーの思いが詰まった「がんばったねカード」授与

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆合言葉は、、、

「だーい草原！キャンプ！！」この言葉を合言葉にキャンプがスタートしました！キャンプ中に“伝説清里の主”出現？！に子どもたちもわくわくドキドキ。。！！キャンプファイヤーでは、子どもたちの明るい声が、森にいる清里の主たちにも届き、なんと出現！！一緒に遊んだり歌をうたいました！森だけでなく、空にも届き、綺麗な星空を見ることができました☆(きっぴ)

☆挑戦に次ぐ挑戦……！

1日目には冒険キャンプに行きました。数々の難関なコースがありましたが、時には子供たち同士で助け合い競い合い、それらを繰り返しているうちに、仲も深まりあっという間にゴール出来ました！カレー作りでは、火起こしに悪戦苦闘しましたが、これも意見をだしあって試行錯誤しているうちに大成功！今回、私自身が初活動で、緊張＋至らぬ事の連続でしたが、子供たちの”糸”を紡いで、”絆”へと成し、夏の思い出の1つを残せたかと思います。(ぷう)

1day outdoor アルプス天然水川遊び①<日帰り>小学1年～3年

- 【開催日】 2018 年 8 月 6 日(月)
 【会 場】 山梨県白州観光尾白キャンプ場
 【参加人数】 25 名
 【ディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)、渡邊和英(キャンプネーム:かずきち)
 【プログラム】

1 日 目	【ねらい】
7:30 集合・出発	○自然の中の水遊びを通して外遊びの楽しさを感じる。 ○安全意識をもちながら活動に臨み、野外における安全を感じることができるようにする。
10:30 現地着	
川遊び	
昼食	
自由時間	
ひの社会教育センター着	
解散	

【プログラムの成果】

都内近郊の川にはない、美しさやダイナミックさをもった尾白川での活動は、低学年の子どもたちにとって挑戦を演出してくれた。「冷たい」「流される」といった、ちょっとした恐怖感が、水に対する安全意識を育んでくれるのだと感じたキャンプになった。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

わっしー、よりより、あんでいー、たなっしー、みきていー、そらまめ

【キャンプの様子】



バスの中からハイテンションの一行。
まずは体操をしっかりとってから川へ。



一歩一歩確かめながら進みます。
ちょっと冷たい。。



川遊び後はお弁当タイム！初めて会ったお友達ともお話して中を深めます。





さあ、勇気をもって飛び込もう！きれいな尾白川の飛び込みはクセになる～～。



午後の自由時間もたくさん遊ぶぞ～！！クラフトをしたり、サッカーしたり、崖登りしたり…。



うきわに乗ってリゾート気分♪ きれいな川は気持ちいい～



寒くなってきた子たちは川辺で生き物探し。いろんな生き物と出会えます

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆無限の発想

センターの前に集まった子供達の顔は緊張で曇り気味。お天気も曇り。でもそんな緊張もバスの中ではどこへいったのやら。よりよりの顔面体操でみんな笑顔。なんやかんやで尾白川に到着。川に飛びこむ子、浮き輪に乗って流れる子、水辺で大きなおたまじゃくしを見つけた子、リーダーとの水かけ合戦に倒しあい。遊び方も子供達の発想も無限。川遊びって面白いね。帰りのバスはリーダーへの質問タイム！恋愛の質問やリーダー同士の仲が悪くなるような質問も！！こういうところでの子供達の発想は恐ろしい…何がともあれとっても楽しいキャンプでした！（あんでいー）

☆一日の大成

朝の会、まだ緊張していたのか少し元気のなかった子供たち、そして私。川でメイク全落ちで思いっきり遊ぶと、気づけばその緊張はほぐれ、「一緒にお昼食べよう！一緒に遊ぼう！」と誘ってもらえるほど距離がぐんと近づいていました！帰りのバスではリーダーへの質問会！みんなリーダーの恋愛事情気になりすぎでもうとても面白かった！子供も私もまるで別人！元気に笑って帰っていきました！楽しかった！！（たなっしー）

ミステリーキャンプ<2泊3日>

小学生～中学生

- 【開催日】 2018 年 8 月 6 日(月)～8 日(水)
 【会 場】 牧場チロルキャンプ場(山梨県北杜市武川町)
 【参加人数】 18 名
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)、井上恵里(キャンプネーム:えっぴ)
 【プログラム】

1 日目	2 日目	3 日目
7:30 集合出発	起床・朝食	起床・朝食
現地到着	精進ヶ滝ハイキング・川遊び	会場撤収
昼食	昼食	昼食
場内探検・会場設営	フリータイム	現地出発
野外炊事・夕食	野外炊事	
夜のレクリエーション	ナイトウォーク	
就寝	就寝	

【ねらい】

- キャンプ生活を通して「衣食住」を自分たちの手で確立する。
- 予定されていない新しいプログラムにもポジティブに取り組める
- 仲間と協力を通じて、一緒に過ごす楽しさを感じる

【プログラムの成果】

I×S×J=G”(衣食住を確立することによって自由時間を得る)をコンセプトにキャンプ全体が進められた。活動のプログラムや任意の食事当番などを全て「作戦会議」で合議しながら進めることで、ある程度の役割意識をもってキャンプを過ごすことができた。

引率リーダーと子どもたちが限りなく対等な関係で接することができ、「みんなで力を合わせると楽しいことができる」雰囲気生まれていた

【同行リーダー(キャンプネーム)】

うっちよ、きき、チャーリー、いなり、ウエンツ

【キャンプの様子】



バスに乗って出発！早速テンション高めです。



I×S×J=G まずは大切な住居づくりからスタート。



ステキな住居空間の完成です！





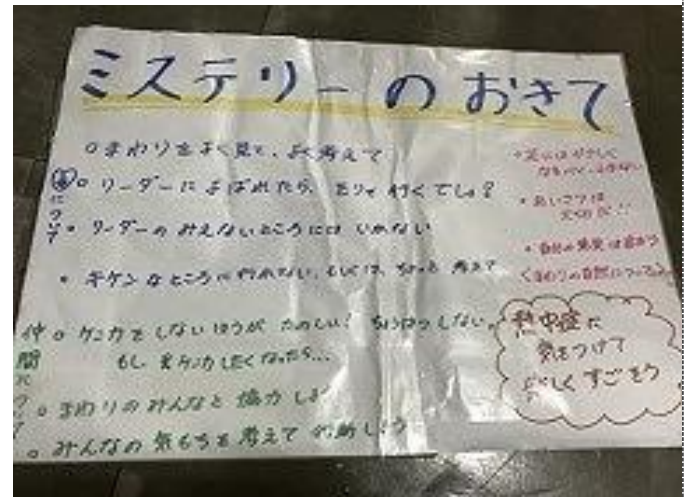
25 人全員でつくり上げたキャンプ。達成感に満ちたいい笑顔！



2 日目みんなが選んだプログラムはハイキング & 川遊び。涼をとりながらのごはん！初体験の人ばかり！



まとめの会。楽しかったこと、思い出に残ったことを発表します。



初日にみんなで考えた「おきて」なにかあると立ち返りました。

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆全部がミステリー

だれと一緒にいくのかもわからない、どこに行くのかもわからない、そうやって始まったミステリーキャンプ。何をすることもわからないからこそ面白い！2 日目のお昼ごはんはなんと、川に足をつけながら食べました！つめた〜い川に足湯(?)のように足をつけながら食べるご飯は最高！ご飯の後、普通に川遊びをするのかと思いきや、「ちょっと川をさかのぼってみる？」といって急に始まった「ミニシャワークライミング」！川の流れの強さを体で感じながらジャブジャブたくさん歩きました。そしてその日の夜、ふと空を見上げてみると、な、なんと天の川が見えるほどの満天の星空が！！はじめてからおわりまで本当にミステリーだらけのキャンプでした！（うちよ）

☆流れ星

2 日目の夜。ゴロンと芝生に寝そべっていると、空には大量の星が！見た事ないくらたくさんの星を見て、流れ星も見られて、「次に流れ星が来たら絶対 3 回お願いごとと言う」と気合を入れていました。そんな時に現れたのは誰も見たことのない、それは大きくて明るい流れ星でした。「うわあー」って叫んでいるうちに流れ星は消えちゃったけれど、最高の思い出です！（きき）

1day outdoor アルプス天然水川遊び②<日帰り>小学1年～3年

- 【開催日】 2018 年 8 月 8 日(水)
 【会 場】 山梨県白州観光尾白キャンプ場
 【参加人数】 24名
 【ディレクター】 若泉将貴(キャンプネーム:わか)、阿部和広(キャンプネーム:あべべ)
 【プログラム】

1 日 目	【ねらい】
7:30 集合・出発	○自然の中の水遊びを通して外遊びの楽しさを感じる。
10:30 現地着	○安全意識をもちながら活動に臨み、野外における安全を感じることができるようにする。
川遊び	
昼食	
現地発	
ひの社会教育センター着	
解散	

【プログラムの成果】

台風の影響が心配されたが無事に川遊びをすることができた。尾白川の透き通った綺麗な見た目とは裏腹に、その水の勢いや冷たさを体で感じながら活動することができた。解散時間が早まり、自由時間はなかったものの、尾白川という大自然の中の活動を通して、普段できない体験・経験をすることができた。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

あんでいー、もっちー、りなてい、みーしゃ、みなきち、つつちー

【キャンプの様子】

		
まずはセーフティークをしたうえで、バディシステムの練習を行い入水します。	勇気を出して頭まで浸ろう！ 冷たいけれど、またこれが気持ちいい～	とてもきれいな水だから生き物もたくさんいるよ！オタマジャクシ発見しました！
		



遊びも少しずつダイナミックになっていきます。
飛び込み、水かけ、スイミング…。



最初冷たくて拒んでいた子も、慣れてくると最高の笑顔に。リーダーも子どももいい笑顔。



川の流れに身を任せて…。天然の流れるプール(笑)



川が冷たいから休憩も大切。バディの練習の成果あり！！

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆夏休みの思い出天然水の川遊び！

天候は曇りで少し涼しい気温でしたが元気な子供たちは冷たい水をかけあい全力で遊ぶ姿が見られました。はじめのうちは浅瀬で遊んでいた子供たちもリーダー達も混ざり全力で遊ぶ姿から自ら「こんな遊びがしたい！」と提案してくる子もいっしょいました。またバディの練習をして、安全についての説明もあり楽しく遊ぶための基礎的なルールがあることも学ぶことができる活動であったのではないかと思います。(みーしゃ)

☆子供のパワフル全開！

現地は晴天！川は透明でとても綺麗！いざ川に入ると……冷たい！寒い！しかし！そんなのも関係なしに子供達は川の流れに身を任せて流れたり、お魚を探したり、リーダーと水をかけあったりと大はしゃぎしました。川遊びを通して初めて話すお友達やリーダーとの距離も縮まりました。帰りのバスもまだまだ元気～！台風なんて関係ない！寒さなんて関係ない！子供達のパワフルさをとっても感じさせてくれる1日でした！（みなきち）

清里大草原キャンプ②<2泊3日>

小学生

- 【開催日】 2018 年 8 月 16 日(木)～18 日(土)
 【会 場】 山梨県立八ヶ岳少年自然の家(山梨県北杜市清里高原)
 【参加人数】 43名
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)
 【アシスタントディレクター】 林実梨(キャンプネーム:まいの)
 【プログラム】

1 日目	2 日目	3 日目
7:30 集合出発	7:30 朝食	7:30 朝食
入所の集い・昼食	原っぱ遊び	原っぱ遊び
13:00 冒険ハイク	昼食・キャンプ場へ移動	11:00 プラネタリウム
16:30 入浴	15:00 野外炊事	12:00 昼食
18:00 夕食	17:00 夕食	現地出発
19:00 夜のレクリエーション	19:00 キャンプファイヤー	
就寝	入浴・就寝	

【ねらい】

○グループワークを通じて、「みんなで遊ぶ楽しさ」を感じる。
 ○荷物整理を中心に、「自分のことは自分でやる」に挑戦する。
 ○広大な敷地をめいっぱい使って思いっきり体を動かす。

【プログラムの成果】

このコースには、「初めてお泊りを体験する」子どもたちも多く参加していたが、お家が恋しくなる子もなく、集まったメンバーみんなで楽しい時間を共有することができた。キャンプでは、「係の仕事」を班ごとに決め、自分たちで役割を担いながらキャンプを創ることを一つのコンセプトに置いた。子どもたちは、楽しみながら積極的に取り組んだことで、そのコンセプトも達成できた。リーダーたちの「楽しくできる」アイデアがたつぷりと詰まった仕掛けがによって、楽しく主体的に活動ができた。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

わっしー、せん、ぶいぶい、くまちゃん、さーちゃん、もっちー、わたろう、ぴんきい、チャーリー、かのん、ハリー

【キャンプの様子】

		
一日目はじまりは「冒険ハイク」から。班で励ましあいながらポイントを回ります。	広大な原っぱ遊び的一幕。お尻滑りでは飽き足らずサーフィンしちゃってます。	2日目昼食は班で協力してカレー作り。火付け・刃物の扱い方を学びます。
		



仲がよくなってきて、みんなのアイデアもどんどん加速。とにかくリーダーが大好き



↑どの班が一番にクリアできるかな？
↓お世話になった施設を綺麗に掃除しよう



そろそろ完成！味見したいけれど、煙が目にしみる。。



みんなのためにリーダーも体はります！

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆怒涛の3日間

はじめから喧嘩をしちゃう子も、バスで具合悪くなっちゃう子もいたけれど、冒険ハイクでは「俺ここ行ったことあるぞ、ここはこうだよ！」と自分の経験を生かしてくれる子もいました。

1年生が3年生の背中を見てついて行って頑張ったり、みんなで協力してカレーをつくりしてとても楽しんでいた3日間でした。

(わっしー)

☆おせんべいごっこ

帰りのバスに乗る直前、ふとんがきちんとたためているか確認してくれる宿の方を待っている時間。ベッドを汚さないようにと始まった床をゴロゴロ、お醤油を塗ってもらい、またゴロゴロ、そしてときどき「おせんべい〜!!」と叫ぶなんとも不思議な遊び。3日間自分たちのやりたいことを少人数で楽しんでいたみんなでしたが、最後に班全員で笑いあった心温まる時間でした。(わたろう)

“The 青春”登山キャンプ<2泊3日> 小学5年生～高校生

- 【開催日】 2018 年 8 月 12 日(日)～14 日(火)
 【会 場】 南アルプス仙丈ヶ岳
 【参加人数】 12 名(小学5年～高校2年生)
 【ディレクター】 藤田郁子(いくちゃん)、阿部和広(あべべ)
 【プログラム】

1 日 目	2 日 目	3 日 目
豊田駅集合	3:45 起床 4:15 出発	朝食
豊田駅→甲府駅	北沢峠～小仙丈ヶ岳～	自由時間
甲府駅→バス→北沢峠	10:30 仙丈ヶ岳山頂	北沢峠→バスで広河原へ
大平山荘 到着	仙丈ヒュッテ(昼食)	ボルタリング・川遊び・昼食
北沢峠周辺を散歩	馬の背～大平山荘	バスで甲府駅へ
夕食とミーティング	夕食	甲府駅→豊田駅
	肝試し&星空観察	解散

【ねらい】

○未知なものへのチャレンジを通して、自分の力を見つめなおす

○大自然の中に身を置き、子どもたちの心を開放し、新しい世界を知るキッカケづくりとする

【プログラムの成果】

3,000m 峰への挑戦！登りは一歩ずつ息が切れ、下りは膝が笑い、山頂付近では頭痛がしてくる子も…。でも、森林限界をぬけたときの絶景、稜線で出会った雷鳥の親子、南アルプス天然水の冷たさとおしさ、満天の天の川、そして仲間たち。「行かなければ出会えなかった」体験が盛りだくさんの3日間でした。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

柳澤幹人(みっきー)

【キャンプの様子】



電車の中で。女子は早くも仲良し！



長い長いバスの旅…



山小屋でまったり…の上級生チーム



夜明け前、ランプの明かりで出発！



やっと5合目！



頂上まであと少し…がんばれ！



3033m、仙丈ヶ岳に全員で登頂！



天然水の流れる川辺で勝負！



森林限界を抜けた！後は絶景!!



3日間一緒にがんばった仲間たち！

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆一人ひとりが輝く山の旅

このコースは「キャンプ」というよりも「旅」という言葉がしっくりきます。行き先と登る山は決まっているけれど、その他は「自由」！

3000m級の登山という大きな挑戦はもちろん大変だったけれど、今年も全員が登頂に成功しました。一人ひとりの頑張りはもちろん、旅の仲間たち同士で励まし合ったり、支え合ったりしたからこそその全員登頂だったと思います。少人数だからこそ、参加者それぞれが持っている個性がキラキラ輝いていた3日間の旅でした。人と人が繋がって、輝ける場所。やっぱり山は良いなあ～！（みっきー）

☆ドキドキワクワクの 3000m

自分自身が、初めて3000m級の登山をした時のことを思い出しながらのみんなとの山行でした。

登山口までの、行程にワクワクしながら出かけ、目の前にそびえたつ山頂にどぎまぎし、登れるのか不安を抱えながら、夜を過ごす。そんな風な気持ちを、みんなも抱えながらの登山キャンプだったのではないかと思います。そんな中で、出会えた雄大な自然と満天の星空は、一生の宝物になることだろうと思います。また、一緒に山にかけよう！（あべべ）

島☆冒険キャンプ<4泊5日>

小学4年生～中学生

- 【開催日】 2018 年 8 月 17 日(金)～21 日(火)
 【会 場】 東京都伊豆諸島 式根島
 【参加人数】 26 名
 【ディレクター】 島崎成利(キャンプネーム:シマックス) 若泉将貴(キャンプネーム:わか)
 【プログラム】

1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	【ねらい】
夜に集合出発	式根島着	朝食	朝食	朝食	○式根島の大自然に触れて新しい世界観を広げる ○仲間と協力した生活を通して、自立心を育む ○安全を意識した行動ができるようになる
竹芝より乗船	宿で休憩	泊海水浴場	中の浦海水浴場	乗船・出航	
船中泊	石白川海水浴場	昼食	昼食	竹芝→豊田	
	海水温泉	泊海水浴場	島内散策	解散	
	夕食	夕食	大浦海岸で BBQ		
	レクタイム	星空散歩			

【プログラムの成果】

5 日間天気に恵まれ、海を堪能することができたキャンプとなった。海遊びは磯・シュノーケリング・飛び込みチームに分かれ、自分のやりたいことを実現できたようだった。センター史上最多となる参加者が集まり、集合当初、緊張気味だった参加者たちだったが、海遊びだけでなく、島での生活を重ねるにつれて、最終日には一体感のあるまとまった雰囲気解散することができた。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

よりより・みきてい・あおし・みほつぷ・そらまめ・ウエンツ・なおずみ(サブリーダー)

【キャンプの様子】

		
夜行船から見える都会の夜景が格別。到着後は皆で記念撮影。ハイ、ジャンプ！	島についたその日から海遊び！シュノーケルチームは海辺で練習をしてから海中へ。	海遊びだけじゃない！？海中温泉にスイカ割り、宿のおいしいごはん、全て最高！！
		



島最終日。島内探検と夕陽を眺めての BBQ は、仲間と過ごす最後の大切な時間。。



たくさんの思い出をありがとう！島・海・民宿・仲間、このキャンプで出会った全てに感謝！



飛び込みチームは何回も何十回も飛び込みます！飽きません！



式根島の海水の透明度は抜群！シュノーケリングが楽しい！

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆4 泊5日の絆

初日はリーダーとばかり一緒にいる子や、1人である子など、どこか緊張気味…。式根島で毎日一緒に寝泊まりをし、海で思う存分遊ぶうちに、絆が次第に深まっていき、冗談を言い合ったり、団結してリーダーを砂に埋めたり(笑)少しずつ絆が深まっていきました。最後の夜にスタンツ(劇)を各班で発表！絆が深まった班でのスタンツでは、初日とは大違いで、こども達の素の表情が現れ、大笑いの夜となりました。サマーキャンプで最も長いキャンプだからこそ、強い絆が生まれた4泊5日でした！

(あおし)

☆式根島でスイカ割り??

3日目のお昼に行われたのは、砂浜でのスイカ割り大会！目隠しした班のリーダーが割るのを、子どもの声で誘導してあげる形で行われました。成功しないと本部のリーダーにスイカ全部食べられちゃう！？子どもたちはスイカを死守するべく必死に応援。リーダーも割るべく必死…。最終的にはなんとか全員が美味しいスイカにありつけたのでした♪(ウエンツ)

1泊キャンプ①<1泊2日>

年長児～小学4年生

- 【開催日】 2018 年 8 月 20 日(月)～21 日(火)
 【会 場】 タヤけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)
 【参加人数】 24名
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)、井上恵里(キャンプネーム:えっぴ)
 【プログラム】

1 日 目	2 日 目	【ねらい】
9:30 集合出発	7:30 起床・朝食	○初めてのキャンプ活動を通して、野外での活動を楽しむ 前向きな心を育てる。 ○親元を離れて「自分のことを自分でやる」体験をする。
豊田～高尾～夕焼小焼	水遊び・川遊び	
昼食・場内探検	昼食	
水遊び・川遊び	荷物整理	
野外炊事・夕食	夕焼小焼～高尾～豊田	
キャンプファイヤー	解散	
就寝		

【プログラムの成果】

「はじめて」が連続の2日間となった。プールとは違う川の流れに身を任せてみたり、大きな火を囲んでキャンプファイヤーをしたりと非日常体験の中で子どもたちは、自分のことができることが分かり自信を持ったり、友達と協力することで成し遂げられることにも気が付いていた。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

ハウス、じょに一、さーちゃん、りなてい、わたろう、ぴんきー、みなきち、あきとろ

【キャンプの様子】

		
今から電車に乗るよ。乗り方を確認して、 班ごとで自己紹介タイム。	キャンプ場に到着したら早速、川遊び。 「う～ん！冷たいっ！」	今からカレーを作るぞ！ 気合を入れて、みんなで「おー！！」
		



「2日間を変な顔で表して〜」「はいチーズ！」みんなの心も開放された2日間でした。
自分たちで使った食器は自分たちで洗ってみよう。環境にも配慮してみよう！→



2 日目にはスイカ割りにも挑戦！子どもたちだけで割れるかな〜？

みんなで大きな火を囲みます。空にはきれいなお星さま。

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆笑顔 100 点な 1 泊キャンプ

川遊びをした 1 日目は気温がそこまで高くなく、子どもたちが楽しめるか心配していたけれど、行ってみたらびっくり！冷たいと言いながらも水をパシャパシャかけ合ったり、飛び込みや川と一緒に流れてみたり、、、子どもたちは川遊びを思いっきり楽しんでいて笑顔は 100 点満点でした！他にもカレー作りにキャンプファイヤーと盛り沢山の 1 泊を過ごし夜にはみんなの力できれいな星空を眺めることができました！（さーちゃん）

☆はじめての体験

1 泊キャンプに参加する子ども達は、ひの社会教育センターのキャンプを全く知らない、初めての子も達が多く参加します。最初、参加する子ども達は…「どうすれば良いんだろう？」や「これから何をするのかな？」といった表情で不安がいっぱいなことから始まります…。

でも、そう思った子ども達が、川遊び、夕飯作り、キャンプファイヤーなどを通して気づいたら、「楽しい！」や「面白い！」といった不思議な世界？(笑)にいるような気持ちになり、いつしか時間が経ち帰る時間には「まだいたい！」という子がたくさんいます！様々な経験を通して新しい挑戦が経験につながるキャンプです！（あきとろ）

1泊キャンプ②<1泊2日>

年長児～小学4年生

- 【開催日】 2018 年 8 月 22 日(水)～23 日(木)
 【会 場】 タヤけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)
 【参加人数】 20名
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)、井上恵里(キャンプネーム:えっぴ)
 若泉将貴(キャンプネーム:わか)

【プログラム】

1 日 目	2 日 目	【ねらい】
9:30 集合出発	7:30 起床・朝食	○初めてのキャンプ活動を通して、野外での活動を楽しむ前向きな心を育てる。 ○親元を離れて「自分のことを自分でやる」体験をする。
豊田～高尾～夕焼小焼	水遊び・川遊び	
昼食・場内探検	昼食	
水遊び・川遊び	荷物整理	
野外炊事・夕食	夕焼小焼～高尾～豊田	
キャンプファイヤー	解散	
就寝		

【プログラムの成果】

異年齢の班で過ごす中で、高学年の早く準備が終わった子が低学年の子の面倒を見る場面がみられるなど、班の中で「友達のことを気にかける」ことができていた。また各アクティビティでは一人一人の「やってみよう」という気持ちを尊重し、リーダーは子どもたちの声に耳を傾けることができた。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

わさ、うっちよ、しいー、わみこ、りなてい、くうちゃん、チャーリー、まっちー、ぴちこ、ハリー、あつくん

【キャンプの様子】



「はじめまして」のお友達ともう仲良し。
電車に乗って出発です。



まずはリーダーと一緒にチャレンジしてみよう。子どももリーダーも真剣です。



美味しいカレーができました！
↓寝袋を敷いて寝床づくり





子どもたち V.S.リーダー さあ、軍配はどちらにあがる??



野菜を上手に切れました!
おやすみの前に今日一日を振り返りタイム



みんなで割ったスイカをパクリ! 2日目班の団結も深まります。



初めてのキャンプファイヤー。今からレクが始まるよ!

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆挑戦!

川遊びの後は、夕食作り! カレーライスとフルーツポンチを作って食べました。野菜を切ったことのある子、初めて挑戦する子など様々。あちこちで「この野菜切ったよ!」と見せてくれました! 「缶切りはどうやって使うのかな?」とリーダーがヒントを出しながら、子ども同士で話し合う班も! みんなで作ったカレーは、格別。2、3 杯おかわりする子が沢山いました! (りなてい)

☆元気いっぱい2日間

今回のキャンプでは二日間とも川遊びをしましたが、みんな元気いっぱい! リーダーvs 子どもたちでの 30 秒間の水の掛け合いのときは、子どもたちの元気いっぱいさにリーダーは圧倒されました! 他にも、魚を見つけて大きいのがいたよと教えてくれたり、水鉄砲でリーダーに命中させたりと、さまざまな遊び方で川を楽しむことができました。天気にも恵まれて、最高のキャンプになりました! (しいー)

1泊キャンプ③<1泊2日>

年長児～小学4年生

- 【開催日】 2018年8月23日(木)～24日(金)
 【会 場】 タヤけ小やけふれあいの里 (東京都八王子市)
 【参加人数】 24名
 【ディレクター】 寺田達也(キャンプネーム:まめた)、井上恵里(キャンプネーム:えっぴ)
 若泉将貴(キャンプネーム:わか)

【プログラム】

1 日目	2 日目	【ねらい】
9:30 集合出発	7:30 起床・朝食	○初めてのキャンプ活動を通して、野外での活動を楽しむ 前向きな心を育てる。 ○親元を離れて「自分のことを自分でやる」体験をする。
豊田～高尾～夕焼小焼	水遊び・川遊び	
昼食・場内探検	昼食	
水遊び・川遊び	荷物整理	
野外炊事・夕食	夕焼小焼～高尾～豊田	
キャンプファイヤー	解散	
就寝		

【プログラムの成果】

一泊キャンプ③は雨の中の活動となったがリーダーの工夫や働きかけによって子どもたちは野外での活動を肯定的に捉えることができていた。いつもと違う環境の中で子どもたちは「雨の音」を楽しみ、いつもはしない「雨のなかでの外遊び」を楽しんだ。濡れて不快になったら自分たちで服を着替える、荷物は自分でパッキングしてみるなど「自分のことは自分でやる」実践の場の提供ができた。

【同行リーダー(キャンプネーム)】

がらさん、きゅうちゃん、じょに一、まーぼ、つばき、かのん、ちぴ、みきてい、ナッツ

【キャンプの様子】



雨が降る前に川遊び。リーダーに助けてもらいながら勇気を出して、、、



まずは皮をむいて、野菜を洗います！みなさんお手のもの！ ↓上手に切れました！



一泊キャンプのお土産に「木のネームプレート」づくり。





「川遊び楽しかった人〜」「はーい！」みんなの笑顔がこぼれます。



ブルーシート電車に巨大カッパ乾燥室
リーダーの雨を乗り切る知恵の結集。



2 日目。お昼ごはんのあとは絵本タイム。釘付けです。



全員で作ったカレーは美味しい。お代わりまですべて完食でした。

【キャンプリーダーより、子どもたちのエピソード】

☆大雨のキャンプファイアー

今回 1 番印象的だったのは、雨の中のキャンプファイアー。声をかき消すほどの土砂降りだったのですが、子供たちやリーダーがそれに負けないくらいの声で歌ってくれて、最高のキャンプファイアーになりました。みんなの心が 1 つになったと感じられました瞬間でした。雨でもキャンプは楽しめます！！（じょにー）

☆遊び疲れて・・・

このキャンプで 1 番印象深い体験はやはり川遊びです。みんなが心の底から楽しんでいるようでした。子どもたちと水を掛け合ったり、魚を探して捕まえようとしたりしました。とても素敵な思い出になりました。
スタンプラリーでは、最後にグループのみんなまで昔遊びをしました。だるま落としやコマ回し、輪投げやけん玉などに興味を持っていたことが嬉しかったです。（つばき）

てつぼう・とびばこ教室 夏 <5 日間> 小学 1 年～4 年

【開催日】 A:2018 年 7 月 30 日(月)～8 月 3 日(金) B:8 月 20 日(月)～24 日(金)

【会 場】 日野社会教育センター3F 体育室

【参加人数】 A:24名 B:24名

【ディレクター】 渡邊和英(リーダーネーム:かずきち)

【プログラム】

1 日 目	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目
15:00 集合・あいさつ	15:00 集合・あいさつ	15:00 集合・あいさつ	15:00 集合・あいさつ	15:00 集合・あいさつ
15:10 体づくり運動	15:10 体づくり運動	15:10 体づくり運動	15:10 体づくり運動	15:10 体づくり運動
16:15 鉄棒とび箱練習	16:10 鉄棒とび箱練習	16:05 鉄棒とび箱練習	16:00 鉄棒とび箱練習	16:00 鉄棒とび箱発表
17:00 終了	17:00 終了	17:00 終了	17:00 終了	17:00 終了

【ねらい】

運動が苦手・嫌いな子が少しでも楽しんで好きになってくれるように鉄棒とび箱に取り組む。

【プログラムの成果】

5 日間連続で通う、鉄棒跳び箱教室。事前のアンケートでは人見知りや運動が嫌いだと書かれていた子どもたちも2日目には元気に教室に参加してくれるようになりました。それは環境が織りなすものだと感じています。私たちは楽しく動いているうちに動きを覚えていくことを目指しています。鉄ぼうとび箱を跳ぶ型を覚えるのではなく、身体を動かす楽しさを覚えてもらえた実感しました。

【体操リーダー(リーダーネーム)】

A:あんでい、ぴよ、けんぴ、こーへー、なかちゃん、かなぶん、しらたま、みーしゃ

B:あんでい、わさ、あぜ、まいの、まっさ、ぴよ、けんぴ、こーへー

【教室の様子】



みんなでポーズ



なかよく雑巾がけ



笑えることも大切な運動の一つ



指を動かす事からはじめる



大きく笑って！



リーダーと仲良し！



怖さを取り除くための安心を



四肢を動かさず運動

こんなに高く跳び超えます！



真剣に話を聞こう



難しい技に挑戦！

【スタッフより、子どもたちのエピソード】

☆子どももリーダーの成長する5日間

今回は難しい技や小学校高学年が飛ぶ高さの跳び箱に挑戦する子ども、鉄棒跳び箱に少し怖さがある子ども等色々な子どもが参加してくれました。目標に向かって頑張ることだけでなく、同じ班のお友達と仲良くなる、教え合うという助け合いがたくさん生まれました。

子どもたちの全力で頑張る姿勢から努力をする素晴らしさをこちらも学ぶことができました。（けんぴ）

☆チャレンジすることの大切さ

最初は怖くて跳べなかった高さの跳び箱。基礎から段階を踏んでしっかりやっていくうちに形ができ、最後は怖さを振り切ってチャレンジすることで跳べるようになる。そんな子どもたちの姿を見て、怖くても失敗してもめげずにチャレンジすることの大切さを改めて感じることができました。（こーへー）

ひの自然学校 サマーキャンプ 2018 参加者・保護者 アンケート(抜粋)

【カヌー体験】

- パドリングができるようになり自信がついたようです。来年もまた参加を希望しています。
- はじめてカヌーに参加しました。本人とても楽しかったようで私たち親もとても満足しています。持ち物も説明もわかりやすかったです。前日に連絡をいただけたのも安心しました。
- 毎回リーダーのお兄さん、お姉さんと仲良くなっていけることに成長を感じ、ありがたく思っています。本人も日々の生活を頑張っている感じです。



【シャワークライミング】



- 私たち親がなかなか体験させてあげられない体験をさせていただけることが大変嬉しく思います。また親子で行くよりも子ども同士の方が精神面での成長があるかと思いました。
- 川でダムを作ったのが楽しかった。飛び込みが気持ちよかった。
- 何が一番楽しかったか聞いたら、「何が一番と言えないほど出発～豊田到着までずっと楽しかった」とのことでした。

【アルプス天然水川遊び】

- 「たのしいがいっぱいあったー」と子供らしい感想を言っていました。家に着くと誰がどうのこうの、水が冷たくて飲めるんだよ～とかたっくさん話してくれました！！ちゃんと思い出づくりができて親子ともに HAPPY です。ありがとうございました。
- とても楽しかった！と話していました。ライフジャケットをきてプカプカ浮いたのがすごくドキドキしたそうです。また機会があったら参加させたいと思います。



【清里大草原キャンプ】



- キャンプがはじめてだったので少しきんちょうしました。でも自ぜんの家に着いたらみんなが話してくれたのでほっとしました。このキャンプで一番うれしかったのは友だちがたくさんできた事です。
- 巨大アスレチックや大自然での体験ができて良かったです。家では言わないとなかなかしない片付けや整頓も進んでやっていたというリーダーのコメントをみてやはり家と外では違うんだなと思い楽しみながら本人も頑張ったんだなと思いました。
- 1年生で参加したときはただ楽しかったのが、3年生で参加すると他の班の様子やリーダーさんたちのことなど周りがみえるようになっていて、とても成長を感じました。

【島☆冒険キャンプ】

- 小5で若干反抗期に入っているのかリーダーの言うことを聞かなかったり等あったようですが（すいません）リーダーの方々にうまく導いていただいたと思っています。
- 初めてで一人での参加でしたが、先生方のおかげでお友達も沢山出来貴重な経験ができたようです。船に乗ること、島での生活、飛び込み、魚を探すこと等々、今回全てが初めてでした。日頃課題に追い込んでしまうことが多いのですが、宿題や、やらなければと課せられることもなく、やりたいことのみに使える日々はとても貴重な時間でした。毎晩更新してくださるブログも忙しい中かと思いますが様子がよくわかり楽しみでした。子どもらしく新しいことに挑戦することを手助けしてくださる企画を末永くお願いいたします。



【The 青春登山キャンプ】



- 異年齢の年上の子との時間は楽しかったようです。登山は大変だったけれど、満天の星空に感動したようです。本当にお世話になりました。
- 登山ということで雨具等準備するところから親子で相談し、準備を楽しみました。息子は山登りの不安よりも楽しみ、山小屋、新しい友達との活動への期待感をもって参加していました。リーダーの皆さん笑顔がすてきで元気一杯！！出発の時も“きっと大丈夫！”という安心感で送り出すことができました。

無事に帰ってきた子ども達。疲れていただろうにみんなほころびげ♪そして一帯感がありましたね。3日間で仲良くなり1つの目標にむかい達成できた喜び！感じました。

リーダーが作ってくれたごはん！満天の星！朝日！岩登り！

南アルプス天然水が飲み放題！！登頂の喜びと同じ位、思い出が一杯

のようです！当日はもちろんそれまでの準備、計画大変だったと思います。家ではできないことを体験させてもらい感謝しています。

【ミステリーキャンプ】

- 今回の運営コンセプトがとっても良かったと思います。できあがったプログラムではなく「主体性」を大切にしてくださいと。3つとも！行き先だけが「ひみつ」のミステリーキャンプだと予想していたのでセンターのみなさんはアイデアマン（ウーマン）だしチャレンジャーだなと感心するばかりです。
- ミステリーキャンプは謎が多いところが面白そうだと思娘にすすめてみました。謎が多くて社教のリーダーさん達だからおまかせできる安心感がありました。ご飯づくりやシャワークライミング、川遊びが楽しかったと言っていました。
- $I \times S \times J = G$ ととても良いと思いました。子どもたちで話し合い、行動するただ受け身ではなく考えて行動できるプログラムがとても満足できる1つでした。



【1泊キャンプ】



- 「また行きたい、帰ってきたくなかった」とのことでした。雨の中でも楽しい経験をありがとうございました。
- 2日間楽しく貴重な経験をさせていただき感謝しています。友人4人との参加でしたが見事に4人班を別々にしていただけたので、初めは少し不安や淋しさもあったようですが、新しいお友達とも仲良くなれて本人の自信にもつながったように思えます。
- 説明会の時に、リーダーさんがこのキャンプに参加するにあたり、学生さんなのに、高いお金を払ってまで研修を受けていると伺い、リーダーさんの熱い想いや社教のスタッフさんの子どもを受け入れるための意識の高さを感じ親としては安心して預けられる思いで感謝しています。帰ってきた子どもの満足気な顔に親もとても豊かな気持ちになりました。

【鉄棒跳び箱教室】

- 今回で6回目の参加になりました。回数を重ねるごとに出来なかったり失敗してもチャレンする姿勢が見られました。鉄棒や跳び箱だけでなく、リーダーの方々との触れ合い遊ぶことも本人は楽しんでいます。
- はじめてのことにとても慎重な息子が夏休みのチャレンジしてみると自らいったところから最終日まで通いきたことにとっても成長を感じ嬉しく思います。リーダーの皆さま方の励まし、声掛けのおかげに感謝の限りです。リーダーの皆様の話で笑顔で家族に話して良い時間を過ごせたのだと感じます。同じグループだったお友達の街で会うと手を振っていたり、短い間でしたが、貴重な時間になりました。



リーダー研修会（キャンプ研修）

日時：2018 年 6 月 17 日（土）～18 日（日）

会場：上野原市緑と太陽の丘キャンプ場（山梨県上野原市）

人数：26 名

【目的】

- ①リーダー間のコミュニケーションを図る
- ②キャンプの基本的な知識・技術を習得する
- ③体験を通してキャンプ中の安全意識を高める

「キャンプの楽しさを伝えるために、自分たちもキャンプに親しむ」ことにより、その価値をリーダー間で再認識し共有することができました。



今回の研修会では NPO 法人六日町観光協会自然体験村の武宮敬介さんを講師にお招きしてレクリエーション指導・火おこしの方法と薪割り・野外炊事・キャンプファイヤーに・川の安全管理と、キャンプに関係するあらゆる分野の基本を確認する会になりました。

レクリエーション指導では子どもたちの心と体をほぐすアイスブレイクから高学年にピッタリのレクなど子どもたちの対象に合わせたレクなど様々な種類のレクを学び、実際に夏の事業で生かすことができました。またリーダー同士でレクの内容をセンターの子どもたち向けにアレンジしてみるなど、リーダー達の楽しいキャンプにしようという熱意も感じられるセッションとなりました。



センターのプログラムに多く採用されている「川遊び」については川での安全管理の方法や監視体制、川での遊び方を学びました。今回は川の増水のため川には入らなかったものの机上で危険予知トレーニングやそれぞれのフィールドに応じた効果的な監視体制についてのワークを行いました。

今年度の研修では実際にやることで発見できることが多く、2 団体共同だからこそ気が付く活動のつくり方や指導上のポイントなども情報交換する場面が多くみられました。

